

第20回建設ロボットシンポジウム

《開催要項》

～ 論文募集のご案内 ～

日本の人口減少とともに生産年齢人口の急激な減少から担い手確保が深刻化する中、建設工事では省人化や効率化による大幅な生産性向上が求められています。一方で新型コロナウイルス感染症の影響による工事の遅れや業務効率の低下などに対応した自動化、省力化技術が求められています。このような状況を背景に、建設ロボット研究連絡協議会では、建築、土木、ロボットの各分野で建設ロボットの開発と普及に関わる研究者や実務者が分野を横断して、その活性化に向けて交流することを目指してシンポジウムを開催しています。

2022年に開催する第20回建設ロボットシンポジウムは、対面とオンラインのハイブリット方式での開催を予定しており、メインテーマを「アフターコロナ時代を迎える新しい建設の創造(仮)」とし、より実用的な建設ロボットの研究と普及に向けた取り組みを加速すべく、様々な視点からの研究発表を募集することにしました。また、今回は2年ぶりに対面によるシンポジウムを開催することを鑑み、会場を早稲田大学西早稲田キャンパスとしました。多くの皆様の積極的な御参加をお待ちしています。

テーマ： アフターコロナ時代を迎える新しい建設の創造(仮)

開催日： 2022年8月24日(水)～8月26日(金) (予定)

会場： 早稲田大学 西早稲田キャンパス

■「主催」 建設ロボット研究連絡協議会

■「共催(予定)」 一般財団法人先端建設技術センター、公益社団法人土木学会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人日本建築学会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本ロボット工業会、早稲田大学理工学術院創造理工学部 (五十音順)

■「協賛(予定)」 公益社団法人計測自動制御学会、建設無人化施工協会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、次世代無人化施工技術研究組合、公益社団法人地盤工学会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、公益社団法人精密工学会、一般社団法人電気学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本測量協会 (五十音順)

■発表形式

発表形式は、口頭発表とポスター発表の2形式とします。口頭発表は、15分の発表と5分の質疑応答(発表件数により変更になることもあります)で、ポスター発表は2分程度のショートプレゼンテーションの後、ポスターで発表していただきます。

口頭発表では、A4サイズ原稿 6ページから8ページの本論文を投稿いただき、論文の査読を経て採否を決定します。なお、不採択の場合はご希望によりポスター発表を頂くことも可能です。

ポスター発表では、A4サイズ原稿2ページ以上（6ページは超えない）の本論文をご投稿いただきます。査読はありませんが発表の可否につきましてはプログラム委員会で判断をいたします。

■ 募集テーマ

論文の応募に際しては、以下の各セッションの内容や項目をご参考下さい。セッション内のそれぞれの項目については代表的と思われるものについて列挙しています。ここに記載の無いその他の建設ロボットとそれに関連するテーマも歓迎します。

- (1) 建設の生産向上・DX
- (2) 高精度・高信頼技術
- (3) アプリケーションと新領域
- (4) 自動化・自律化
- (5) ロボット・キーテクノロジー

■ 応募要領, スケジュール (予定)

(1) 口頭発表原稿のスケジュール

- ・ 申し込み締切 : 2022年 4月8日 (金)
- ・ 発表原稿の締切 : 2022年 5月9日 (月)
- ・ 発表原稿の採否 : 2022年 5月下旬
- ・ 発表原稿の最終提出 : 2022年 6月30日 (木)
- ・ 口頭発表 : 2022年 8月24日 (水), 25日 (木)

(2) ポスター原稿のスケジュール

- ・ 申し込み締切 : 2022年 5月31日 (火)
- ・ 発表原稿の締切 : 2022年 5月31日 (火)
- ・ ポスター発表 : 2022年 8月24日 (水), 25日 (木)

■ 参加登録料

- (1) 一般 : 20,000円 (予定、コロナ感染の影響により、変更することがあります)
- (2) 学生 : 聴講は無料

※詳細は下記のホームページで公開しております。

問合せ先・送付先

第20回建設ロボットシンポジウム事務局

E-mail : scr20-sec@ccrr.jp

URL : <http://www.ccrr.jp/>